

# 日本マクロエンジニアリング学会第40回春季研究大会開催報告

## 開会の挨拶

角田会長より、コロナ変位種の感染力に用心が求められる中、リモート方式のメリットに触れ、開会の挨拶があった。

## 発表1「大学における対面なき遠隔授業に関する一考察 ～日本工業大学の環境系科目「エコ入門」を例として～」

○八木田浩史（日本工業大学 共通教育学群）

2020年度春学期は新型コロナウイルスに対する各種の対応・授業開始の遅れ・遠隔授業形式・オンラインサポートなど、大混乱の始まりとなった。

1年生の履修者が多い「エコ入門」の遠隔授業を例に、学生とのメール対応・演習課題の提出/締切方法・入国できない留学生などの事態を整理した上で、多人数の科目では遠隔授業が適しており、少人数の科目では対面の授業が適しているかも知れない、とされた。

## 発表2「高等学校におけるSDGs教育の実態分析～東北地方の現状と課題を中心に～」

○小山内詩織；劉庭秀；大窪和明（東北大学大学院 国際文化研究科）

SDGs教育は、2020年の新学習指導要領に「持続可能な社会の創り手の育成」が明記された。白石高等学校の取り組みを例に、教育現場における教員・生徒の立場から課題を分析された。

正確な内容理解には教員の負担が大きい、SDGs指導に携わる中でSDGsやESDの理解が深まるとされ、生徒にとっては大学受験などでのインセンティブがあればもっと望ましいと会場から意見があった。

## 発表3「民間企業による古紙回収が廃棄物行政に与える影響分析～スーパーの資源ゴミ回収ステーションを事例に～」

○劉曉玥；劉庭秀；大窪和明（東北大学大学院 国際文化研究科）

廃棄物行政は非効率と言われる反面、過度な負担、コロナの追い打ちなどがあるが、スーパーの資源ゴミ回収ステーションを例に、市民のリサイクル行動、利便性、立地環境など、資源回収量の要因分析を行った。

市民の資源排出時期の偏りは、行政回収より民間企業による資源回収ステーションが有利に働くことから、回収量において、民間企業の資源ゴミ回収ステーションは行政回収を上回る、とされた。

## 大学における対面なき遠隔授業に関する一考察 ～日本工業大学の環境系科目「エコ入門」を例として～

日本工業大学 共通教育学群  
八木田浩史

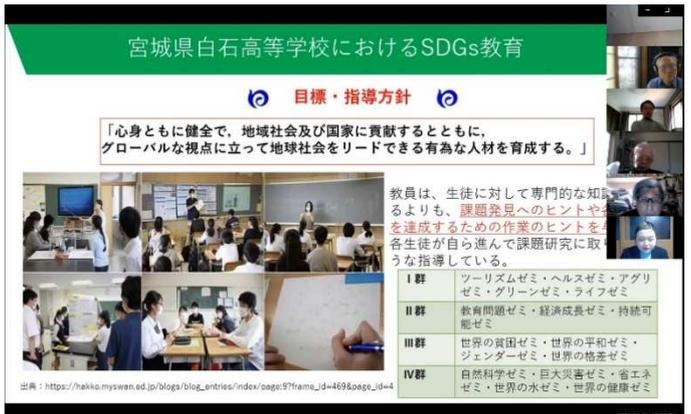
日本マクロエンジニアリング学会  
第40回春季研究大会 2021年4月24日(土)



会員、  
準会員  
17名に  
ご参加  
いただき  
ました。

## 発表1「大学における対面なき遠隔授業に関する一考察 ～日本工業大学の環境系科目「エコ入門」を例として～」

八木田浩史（日本工業大学 共通教育学群）



## 発表2「高等学校におけるSDGs教育の実態分析～東北地方の現状と課題を中心に～」

小山内詩織（東北大学大学院 国際文化研究科）



## 発表3「民間企業による古紙回収が廃棄物行政に与える影響分析～スーパーの資源ゴミ回収ステーションを事例に～」

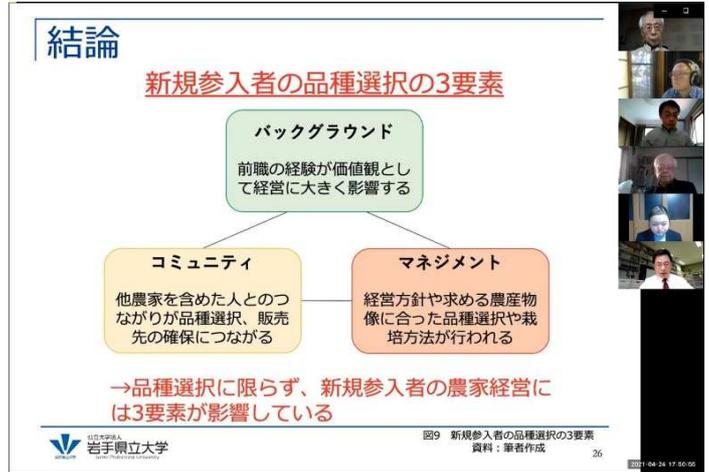
劉曉玥（東北大学大学院 国際文化研究科）

**発表4「都市近郊農家における高収益野菜の品種選択の要因に関する予備的考察」**

○新田義修；阿部ひまわり（岩手県立大学）

生産者の品種選択の要因について、農家経営の成長段階、外部環境との関連性など、生産者のこだわりがわかりやすいトマトを例に、事例農家へのフィールド調査に基づき、報告された。

食味の判断基準や経営において、本人主観が強いケースと消費者の声も踏まえているケースがあり、何を目指した経営を行うかによってマーケティングに変化がある、とされた。



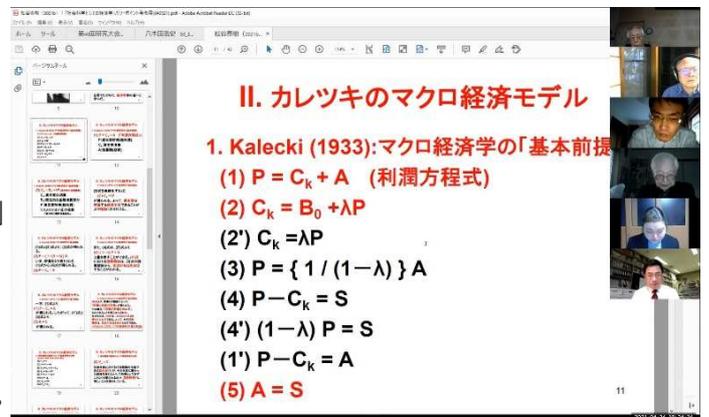
**発表4「都市近郊農家における高収益野菜の品種選択の要因に関する予備的考察」**  
新田義修（岩手県立大学）

**発表5「社会科学としての経済学：カレツキのマクロ経済学」**

○松谷泰樹（中央大学経済学部）

カレツキのマクロ経済モデルは、基本的性格をそれぞれ「能動的経済主体」とする資本家と「受動的経済主体」とする労働者の関係を、「方法論的集団主義」の採用により構築している「社会科学としての経済学」の性質をもっている。

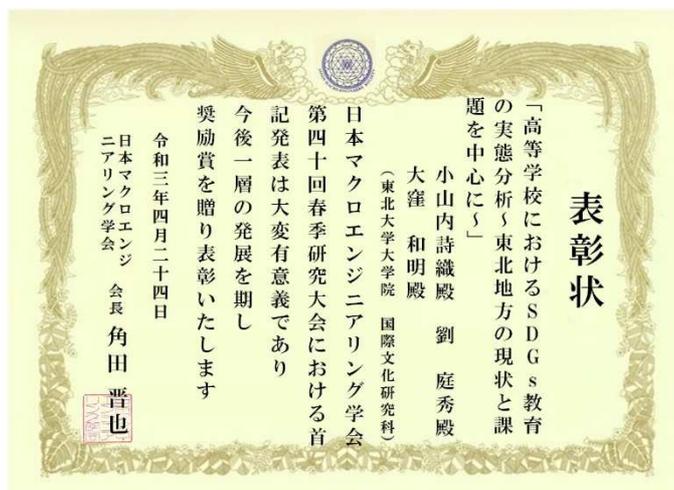
それら 2 階級の所得をめぐる観察可能な一般的な行動を考察しているカレツキは、行動経済学の先がけの 1 人と見なすことができるかもしれないとされた。



**発表5「社会科学としての経済学：カレツキのマクロ経済学」**  
松谷泰樹（中央大学経済学部）

**閉会の挨拶**

小島理事長より、教育・環境・農学・経済学など、多岐にわたる発表と活発な議論で、マクロエンジニアリングらしい研究大会と総括があった。



**奨励賞 小山内詩織殿他**



**奨励賞 劉曉玥殿他**

活発な質疑で時間が押したこともあり、表彰式は割愛となりましたが（次回は研究大会の時間をたっぷり取りたいと思います）、厳正な審査の結果、発表2 小山内詩織さんと発表3 劉曉玥さんに益々の発展を期し日本マクロエンジニアリング学会奨励賞を贈呈することになりました。

